

三井不動産と NEC ネットズエスアイ、ローカル 5G を用いた 新たなオフィスビル活用について、日本初の共同実証実験実施に合意

本リリースのポイント

- 三井不動産と NEC ネットズエスアイは共同実証実験実施に合意
- ローカル 5G のカスタマイズ可能な特長を生かし、多様なワークスタイルに柔軟に対応したサービス実現が可能
- 2020 年 12 月より日本橋室町三井タワーにて実証実験開始予定

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 菰田 正信、以下 三井不動産)と NEC ネットズエスアイ株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役執行役員社長 牛島 祐之、以下 NEC ネットズエスアイ)は、ローカル 5G を活用したスマートビルの実現や新たなワークスタイルのサービス提供を目指し、2020 年 9 月に共同実証実験の実施に合意しました。実証実験は、2020 年 12 月から 2021 年 5 月まで、日本橋室町三井タワー内の一部エリアで行う予定です。大規模オフィスビル内でのスタンドアロン方式のローカル 5G(4.7GHz 帯)を用いた実証実験は、日本初の取り組みとなります。

ローカル 5G は、5G の特長である「高速・大容量、低遅延、多接続」に加え、自営網の特長である「性能カスタマイズの柔軟性、高セキュリティ、安定性」を兼ね備え、オフィスビル内の様々な用途に活用することが可能です。スマートビルにおける各種の通信ネットワーク最適化基盤を構築し、様々なワークスタイルにフレキシブルに対応できるネットワーク環境の実現が可能です。



ローカル 5G により実現する新たなオフィスソリューション(イメージ)

両社は、三井不動産の持つ「場と機会を活用するノウハウ」と、NEC ネットズエスアイの持つ「ネットワーク・無線基盤技術と働き方改革ノウハウ」を融合し、ローカル5Gを活用しながら以下のテーマで実証実験を行うことで、ワーカーの知的生産性の向上、多様なワークスタイルのニーズに対応した高セキュリティなオフィス環境やサービスモデルの創出を目指します。また、ロボティクス等を活用したオフィス内の非接触化の取り組みにより、新型コロナウイルス感染拡大に対するオフィス利用者の不安を軽減するなど、5G をビル管理に取り入れながら大規模地震等、災害時の活用も視野に入れていきます。

<実証実験テーマ>

① XR(※1)や映像・音声認識技術等を高度に活用したリアル、バーチャル両方のワークプレイスの設置



バーチャルワークプレイス(イメージ)



VR 活用によるリアル・バーチャル間コミュニケーション(イメージ)

※1 VR、AR など、現実世界と仮想世界を融合するさまざまな技術の総称

② 高速・高セキュリティな無線ネットワークと5G スマートフォンを活用した PC レスのオフィス環境の整備



PC レスなオフィス環境(イメージ)

③ ロボットや次世代サイネージを活用したテナント向けサービスの提供やオフィスビル管理



自律走行型案内ロボット「YUNJI SAIL」



次世代サイネージシステム(イメージ)

三井不動産および NEC ネットズエスアイは、日本橋室町三井タワーの 5、6 階(オフィスロビー)、11 階(三井不動産 オフィス内)、22 階(NEC ネットズエスアイ イノベーションベース内)において 2020 年 12 月から 2021 年 5 月まで実証実験を行う予定です。NEC ネットズエスアイは、総務省に本年内に商用のローカル5G 無線局免許の制度化が行われる予定の 4.7GHz 帯域を活用した実験試験局免許の申請を行い、同帯域の商用のローカル5G 無線局免許の制度化後は、三井不動産が速やかに商用免許申請を行い、実用化に向けた取り組みを加速していきます。

両社はこれからも本取り組みを通して、オフィスビル分野での企業や社会が抱える課題解決および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上

SDGs(持続可能な開発目標)への貢献

■三井不動産グループの SDGs への貢献 https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/esg_csr/?id=global

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しています。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。

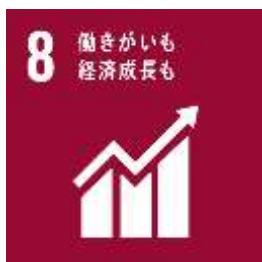
■NEC ネットズエスアイの SDGs への貢献

SDGs とは、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、国連で採択された 2030 年を年限とした 17 の国際目標です。

NEC ネットズエスアイグループでは、「コミュニケーションの創出による価値提供」を通じて、世界中の人々が安心・安全で豊かに暮らせる社会の実現をめざし、SDGs の目標達成に貢献してまいります。

※なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における 4 つの目標に貢献しています。

目標 8 働きがいも経済成長も
目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
目標 11 住み続けられるまちづくりを
目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

<参考>

■『三井のオフィス』の取り組みについて

三井不動産では近年、社会的に働き方の多様化が求められているなか、誰もが自分のカラーを活かして働けるよう、「COLORFUL WORK PROJECT」をスローガンに様々な取り組みを行っています。これら取り組みを通じて『三井のオフィス』をご利用の皆様が単に「働く」というだけでなく、様々な On Time/Off Time を過ごし、集う、そんな”新しい生活”の場を提供してまいります。

COLORFUL WORK PROJECT

三井のオフィス



■三井不動産のデジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組み

三井不動産の長期経営方針「VISION 2025」で掲げた「テクノロジーを活用し、不動産業そのものをイノベーション」を実現すべく、「事業変革」「働き方改革」「システム先進化」の3つの軸でグループ全体のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進しています。2019年にはDXの推進に積極的に取り組む企業として、経済産業省及び東京証券取引所より「攻めのIT経営銘柄 2019」に選定されました。2020年4月にはDXの取組強化のため「ITイノベーション部」を本部化し「DX本部」を創設、グループ全体のDXを推進していきます。

■NEC ネットエスアイの取り組み

NEC ネットエスアイは今後、ローカル 5G を活用し、社会、産業、企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を促す活動を推進します。地域経済、課題解決サービスを支える5G時代の地域ネットワークの構築をサポートしていきます。

働き方改革に向けた NEC ネットエスアイの取り組み

<https://www.nesic.co.jp/solution/eo/hatarakikata.html>

ニューノーマル宣言

<https://symphonict.nesic.co.jp/newnormal/>

NESIC ローカル5G

<https://symphonict.nesic.co.jp/5g/>